

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 unité (ゆにて)					公表日	令和7年3月31日
		チェック項目	評価			工夫している点	課題や改善すべき点	
			はい	どちらとも いえない	いいえ			
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			午前と午後の活動に分け、同じ時間帯の利用の人数を押さえることで、過度は広さを使用できるようにしている。	限られたスペースでも、仕切りなどを使ってうまく区切って、メリハリをつけていけると良い。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			午前と午後の活動に分け、同じ時間帯の利用の人数を押さえることで、支援スタッフの配置も手厚くしている。日によって担当職員を替えて固定化しない様心がけている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		3	写真や文字等でスケジュールを伝える”等、過ごしやすい環境調整を心がけている。	古い作りの建物のため、段差などが多く危ない箇所もある。対応策を検討して行きたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		1	日々玩具や備品等の消毒及び掃除等を行い、清潔を保てるように心がけている。	古い作りの建物のため、不便なところや衛生面が保ちにくい構造になっている。対応策を検討して行きたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			部屋を区切って個別の空間を作ったり、外の庭を利用して場面の転換や切り替えを行っている。居心地の良い場所で過ごせるように工夫している。	2階にある個別支援室の適切な利用方法を検討中。	
業務 改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	3	記録の記入や送りを行って、職員間の情報共有を図っている。	目標設定を定期的に行い、職員全体で振り返りを行う時間をもっと確保していく必要がある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	1	ホームページでの公開を実施し、周知していく。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		1	職員会議などを行い、意見交換を行っている。会議録などで共通理解、改善に努めている。	実際の意見を検討し、具体策を考えて業務に反映できるようにしていきたい。意見に対して共有できたチェック項目をつけて確認できると良い。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6			定期的に第三者委員による評価を受えられるように努めていきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	2	3	3	年間計画に基づいて、研修や訓練を行っている。研修動画など、適宜受けやすい時間にみられるようにしている。	まだまだ充実しているとは言えない為、研修の機会を確保し、スキルアップにつなげていきたい。研修一覧等見やすい提示があると良い。	
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	2		ホームページにて公表。	広く周知できるように整えていきたい。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	1		アセスメントに重きを置き支援計画に反映させている。	定期的に支援計画の見直しを行い適切な支援に繋がられるよう努めたい。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	2		個別支援計画案を職員間で協議し、より良い支援計画となるように努めている。職員間で常に最善策を考え伝え合っている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8				全ての職員が個々の個別支援計画についてより細かく把握して、日々の支援に反映していけるように努めたい。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	3			それぞれの特性を理解し、日々の行動観を徹底し、記録し、長期的な支援計画に繋げていく。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	2		ガイドラインの項目（5領域）に基づき個別支援計画書を作成。また、児童発達支援管理責任者や担任間で目標や取り組み内容を協議し、個別支援計画書に反映させている。	今後家族支援に力を入れていきたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3	1	職員間で共有し、スタッフ全体でプログラムを考え、行っている。	機能訓練員とも連携し、より良い支援を組み立てていきたい。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1	4	職員間で意見交換し、新しい活動などを積極的に取り入れている。	保育内容が固定化していると感じる場面もあるため、日々情報を収集し、活動内容も更新して行きたい。部屋の広さが制限されていることや、課題の数がまだ少ないことなどが要	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		個別支援と集団活動の両方を必ず行えるように活動を工夫している。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			打ち合わせを行い、前日からの申し送りや今日の支援方法、職員は配置などを確認し支援にあたっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			夕礼にて、職員打ち合わせを行い、支援の振り返りを行っている打ち合わせに参加できない場合も会議録等で後日確認している。	職員間の情報共有をさらに深めより良い支援に繋げていきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	2	1	担当職員が、担当児童の活動の様子や行動、などについて記録をしている。	担当の児童の様子を、他の職員が行った支援内容などを確認しあい、改善に繋げていきたい。
	23	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	2		適宜モニタリングを行っている。	モニタリングの結果を考察し、より良い計画に反映させるように努める。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	2		児童の様子を把握した職員が対応している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2		適宜関係機関と連絡を取り合い、より良い支援体制を作るよう努力している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	1	適宜、情報の共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3	3	適宜、情報共有を行う体制を作っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
関係機関や保護者との連携	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2	4		地域に児童発達支援センターはないが、今後には中核的な支援機関からの助言を受けたり、研修を受けたりしていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	4		地域の施設との交流を持てるように努めたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			システムでの共有や電話連絡を適宜行うことで、保護者との情報共有を行い、より良い関係づくりを目指している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	4		今後家族支援にも力を入れていきたい。

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1		保護者への細やかな説明を行うことに努めている。	相談しやすい体制を整えていきたい。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1		適宜、保護者との面談や連絡を行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	1		適宜対応し、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1		適宜対応している。	相談しやすい体制を整えていきたい。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2	5	開設して間もないため、まだ整備できていない。	保護者同士の交流や座談会など今後検討していきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1		適宜対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1	1	適宜発信している。	インスタグラムなどで発信。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1		職員間でも確認し、取り扱いは厳重に注意している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			職員間でも確認し、配慮を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		1	7		開所間もないため、対応できていない。地域交流は今後の課題である。検討していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3	2	年間計画に基づいて、研修や訓練を行っている。	職員の意識を高め、有事の時にも迅速に対応できるよう努めたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2	2	年間計画に基づいて、研修や訓練を行っている。	職員の意識を高め、有事の時にも迅速に対応できるよう努めたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	3		適宜、保護者に確認を行っている。	医療的な配慮が必要な方に関しては、関係機関と情報を共有して、支援の統一を徹底していきたい。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	5	1	現在は事業所内で食事おやつ提供はしていない。水分も持参した水筒のみ。	適宜、適切な対応を行っていきたい。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2		年間計画に基づいて、研修や訓練を行っている。安全に配慮し支援を行っている。	子どもが外に出ないように、施設などの状態をより良い形にしていくことを検討。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	4	1	適宜行っている。	安心して通所できるように、ご家族への周知を広げていきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			定期的に報告・検討を行っている。	全職員が意識して対応にあたり、報告書をあげることで、再発を防止するよう努めていきたい。共有できるよう工夫が必要。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		1	年間計画に基づいて、研修や訓練を行っている。	研修や事例検討などを行い、より理解を深めて適切な支援に反映させていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	6		該当児童なし。	